



平成23年5月30日

各 位

会社名 日本ラッド株式会社
代表者名 代表取締役会長 大塚 隆一
(JASDAQ・コード4736)
問合せ先 管理本部経営企画室 吉田郁久子
(TEL. 03-5574-7801)

訂正四半期報告書等の提出及び四半期決算短信の訂正に関するお知らせ

当社は、平成23年3月25日付「平成23年度四半期決算短信等の訂正の可能性に関するお知らせ」においてお知らせしております通り、平成23年3月期中(平成22年4月1日～平成22年12月31日)において開示または提出した四半期決算短信および四半期報告書の訂正の可能性について協議・精査を続けておりましたが、本日、下記の通り、四半期決算短信を訂正するとともに、訂正四半期報告書を関東財務局へ提出する予定ですので、お知らせいたします。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表につきましては、アスカ監査法人より四半期レビューを受け、改めて無限定適正意見の四半期レビュー報告書を受領しております。

記

1. 訂正の理由

本件は、既にお知らせしております通り、当社の連結対象子会社であるシアター・テレビジョンにおける番組コンテンツに係る会計処理について見直しを行った結果によるものであります。

株式会社シアター・テレビジョンは、劇場・舞台芸術専門委託放送事業を中心に、その他、ネット配信などによる自社制作および他者制作の番組コンテンツの提供、視聴覚物の制作・配給・興行事業等を行っております。同社は、平成21年2月に当社の連結対象子会社となって以来、放送/配信番組の内容を変更し、また、他社からの購入番組数を減らして、多くの自社制作番組による編成方針に切り替え、事業を展開してまいりました。

これら自社制作された番組コンテンツ資産に係る会計処理としましては、それぞれの会社がコンテンツの内容や資産性(利用状況)などに応じた判断により個々のコンテンツの償却期間を設け、減価償却を行っていくことになっておりますが、同社においてはこれまで、上記新番組が制作された時点からの年数経過が浅く、コンテンツ利用の実績データも少なかったため、全ての番組コンテンツについて12ヶ月の償却期間を設定して会計処理を行ってまいりました。

しかしながら、同社の子会社化から2年以上が経過し、その間の制作番組は250本を超え、放送/配信番組全体における自社制作番組の比率が大幅に増加するとともに、それらの番組コンテンツの会計処理についてどうあるべきか、当社としても様々な調査や協議を重ねてまいりました。その結果、同社が制作した番組の多くは、長期に渡って放映に耐える内容のものであり、また中期的番組編成方針においても、制作された時点から1年を超えた後の再放送・再配信の実績および予定が組まれているものが多く、そのことから鑑みると、これらのコンテンツの償却期間は、12ヶ月を超える複数年に設定されてしかるべきものであるという結論に至ったため、当社としては、償却期間の変更を行う方針を決定いたしました。

この件についての調査・検討には多くの時間を要し、上記の結論に至ったのは、平成23年度3月期第4四半期になってからであり、既に同第1四半期から第3四半期の決算を終えた後でありましたが、償却期間の変更を行うにあたって、同第4四半期からの適応となると、同一期中において同一コンテンツの会計処理方法に齟齬が生じることとなります。当社としましては、この件についても協議・検討を行いました。平成23年度3月期中の一年間を通した平均的な再放送・再配信の実績を鑑みると、同一期中での齟齬は避けることが、より経済的実態に即した会計処理を適用する

ことになるものとの判断に至り、第1四半期に遡っての訂正を行う方針を決定いたしました。

その後、当社の会計監査人である三優監査法人(当時)および、同監査法人退任後は、引き続き一時会計監査人であるアスカ監査法人と、本件について協議・精査を重ねた結果、本日、訂正四半期報告書の提出および四半期決算短信の訂正を行うこととなりました。

なお、コンテンツ資産の償却期間変更後の会計処理に伴って、減価償却額の訂正の他、少数株主持分損益においても訂正が生じることとなります。それぞれの影響額は以下の通りとなります。

(単位:千円)

平成23年3月期(累計)	第一四半期	第二四半期	第三四半期
償却期間変更に伴う影響額	15,914	31,075	43,590
少数株主持分損益再計算による影響額	1,991	3,888	2,283

また、本件の訂正と合わせ、アスカ監査法人による指摘事項を受け、以下の軽微な訂正を行っております。

(単位:千円)

平成23年3月期(累計)	第一四半期	第二四半期	第三四半期
資産除去債務の再計算による影響額	134	312	752
営業外収益内項目と特別利益内項目との表示組換 訂正 ※営業利益、当期純利益に影響はありません	3,574	7,492	8,730

2. 訂正短信等

決算期	文書名	開示日
平成23年3月期	平成23年3月期 第1四半期決算短信(連結)	平成22年8月4日
平成23年3月期	平成23年3月期 第2四半期決算短信(連結)	平成22年11月5日
平成23年3月期	平成23年3月期 第3四半期決算短信(連結)	平成23年2月7日

3. 訂正報告書等

決算期	文書名	提出日
平成23年3月期	四半期報告書 第40期第1四半期	平成22年8月13日
平成23年3月期	四半期報告書 第40期第2四半期	平成22年11月15日
平成23年3月期	四半期報告書 第40期第3四半期	平成23年2月14日

4. 訂正の概要

(単位:百万円)

連結業績(累計)		訂正前	訂正後	訂正額
平成23年3月期 第一四半期	売上高	736	736	—
	営業利益	△213	△198	15
	経常利益	△213	△200	13
	四半期純利益	△177	△162	15
平成23年3月期 第二四半期	売上高	1,710	1710	—
	営業利益	△344	△312	32
	経常利益	△362	△338	24
	四半期純利益	△329	△301	28
平成23年3月期 第三四半期	売上高	2,740	2740	—
	営業利益	△473	△429	44
	経常利益	△510	△475	35
	四半期純利益	△516	△474	42

以上